



育成のとびら

(第71号)
令和8年3月
発行 練馬区青少年育成
大泉西地区委員会
〒178-0064 南大泉5-26-19
(南大泉地域集会所内)
TEL 3922-1124



笑顔がいっぱい育成事業

「楽しかった!」「また参加したい!」そんな声があちらこちらで聞こえた1年でした。「バスで行く森林公園」(トゥギャザー事業)、「ポッチャ大会」をはじめ、さまざまな体験活動を通して、子供たちは多くのことを学び、成長することができました。

**バスで行く
森林公園**
12月14日(日)
武蔵丘陵
森林公園



参加者は24名、スタッフ20名、バス2台で出発しました。森林公園に着く頃には、雨もあがり、まずは一安心。
今回の「バスで行く森林公園」の特徴は、何と言つても青年リーダーのアイデアによるロールプレイングゲームを取り入れたウォークラリーです。

最初に、青年リーダーから、このウォークラリーについての説明がありました。各チーム(一チーム5~6名)にクエストシートが渡されました。そのシートに書かれているミッションは、チェックポイントで装備(カード)を獲得することです。そしてその装備の種類、色で得点を競います。
午前中のチェックポイントは12か所。地図を手がかりに、チームで協力してそれを探します。

「地図上ではこのあたりにあるんだけどな」「あつ、あつたー!」「このチェックポイントの装備の種類は何か?色は?」子供たちの期待は膨らみ、ゴールをめざします。午後からは、運動広場に設置されたチェックポイントを回り、そこでゲームに挑戦。簡単なようでも、それぞれのゲームに工夫がこらされ、頭と体はフル回転です。ゲームをクリアしてカードをゲット。



楽しい時間はあっという間に過ぎます。最後に結果発表。1位のチームから順に賞品の「おやつ袋」を選ぶ権利が与えられますが、ここでまた大盛り上がり。外からは袋の中身は分かりませんが、どれにするかチームでワイワイ、袋を開けてのお楽しみです!



最後まで、子供たちの笑顔が絶えなかつた「バスで行く森林公園」。青年リーダーのみならず、みなさんありがとうございます。ございました。



育成活動をふりかえって
会長 鈴木 昌一



令和7年度新規に実施された事業は、9月の「ポッチャ大会」、12月の「バスで行く森林公園」(トゥギャザー事業)です。

初めての事業は、計画の段階から当日を迎えるまでに心配や不安、そしてさまざまな苦労があります。「ポッチャ大会」は、経験のある育成委員を中心に、また中学生ボランティアの協力も得て、参加された方に楽しんでいただきました。「バスで行く森林公園」は、久々の「バスハイイク」でした。これまでと大きく異なる点は、青年リーダーが企画に参加し、斬新なアイデアを生かし、事業を展開したことです。天候不良で寒い日でしたが、ウォークラリーやゲームを楽しみ、笑顔あふれる一日でした。育成の活動にも、時代に即した変化、対応が求められます。しかし、子供たちの健やかな成長を願う点は普遍です。今後ともご協力よろしくお願いたします。



ポッチャ大会

9月23日(祝)
大泉西中学校

はじめての開催となったポッチャ大会。小学生、中学生、大人も加わり、総勢約50名が楽しみました。

参加者の大半は、ポッチャは初めてです。初めに、ルールを教えてもらいました。練習をするうちにだんだんルールがわかってきました。

試合が始まる頃には、表情も真剣になって、チームメイトを応援したり、的であるジャックボールに自分の投げたボールが近づくと「よし!」とガッツポーズで喜んでいたり、また観客からも拍手が起きていました。最後の一投で逆転することもあり、応援する側もとても楽しめました。



ボールの表面はやわらかく、重さも感じられました。的に近づけるためには、上投げか下投げか、はたまた転がしたほうがいいのかといういろいろな選択肢があり、また力加減も考えなければなりません。ときには大人よりも子供たちのほうがコントロールよくジャックボ



ルに近づけられることもあり、ポッチャの奥深さを感じました。勝利するには、ジャックボールの後ろではなく、前にボールが位置するように投げると、その後の試合展開が有利になります。また、初めに投げるジャックボールを自分たちのチームが得意とする位置に投げるのがコツだということも知りました。

3つのコートでそれぞれに優勝チームが決まり、閉会式で賞状授与が行われると拍手がわき、とてもなごやかに終了しました。誰でも楽しめるポッチャ。この機会を通じてルールや楽しさが広まっていくといいですね。

親子ミニ運動会

11月9日(日)
大泉第四小学校

あいにくの雨。参加者約300名がつどい、体育館いっぱい、賑わいのある開催となりました。対抗つなひきと対抗リレーは、残念ながらできませんでしたが、他の6つの競技は予定どおり実施。その中から、今回4競技を紹介します。

障害物競走

3〜6年生の勇ましい子供たちが競い合う障害物競走。ボール運びでは、ボールをカゴに入れたところ、何度も跳ね返り、外に出てしまい、再チャレンジの間に、順位が入れ替わってしまいうことも。それに焦りながら、必死で巻き返そうと、勢いよくゴールを目指す子供たち。一人一人が勝利にかけた集中力は凄かったです!



がんばれ! 恐竜

恐竜においしい食べ物あげよう、箱の中に入っている食べ物シールを一生懸命選ぶ幼児の姿が可愛かったです。お腹いっぱいで大満足の恐竜とともに、幼児たちの優しさ溢れる競技でした。着ぐるみの恐竜は一躍人気ものに!



しっぽとり

1、2回戦は子供VS子供、3回戦目は子供VS大人。仲睦まじくやっていた子供たち同士の時とは

打って変わり、目の色を変えて大人に挑戦。子供チームは、大人の「しっぽ」を全て取るうと一致団結、獲物を追いかけるヒョウのように、凄まじい勢いでしっぽを取っていく様は圧巻でした!



おやつゲットだぜ!

最後の競技は「おやつゲットだぜ!」。待つてました!!と言わんばかりの子供たちの嬉しそうな表情。棒にパンやグミなどのお菓子袋がぶら下がっていて、自分の手で取る達成感が得られ、とても満足そうでした。



学校の運動会にはない種目があり、そして親子で参加できるからこそ盛り上がります。

親子ミニ運動会の開催も25回を数え、伝統ある事業として定着してきました。また来年度、親子で地域の交流を図りながら、大泉西地区と一緒に楽しく盛り上げていきましょう!

サツマイモ収穫体験

11月2日(日)
加藤農園

恒例のサツマイモ収穫体験、全体で約600名が参加しました。

前々日に雨が降ったため、土が少しかたくなつており、サツマイモを掘り出すのはひと苦労でした。それでも子供たちは両手で一生懸命に土をかき分け、「うんとこしょ、どっこいしょ!」と元気な声をあげながら頑張っていました。ようやく顔を出した大きなサツマイモを見つけると、「すごい!」「大きい!」と



歓声が上がリ、みんな笑顔いっぱいでした。

大西中のボランティアの生徒も参加し、小さな子供たちを手伝ったりと、一緒に掘った

りと、にぎやかであたたかな雰囲気になりました。両手いっぱい

に収穫したお芋は、おみやげとして持ち帰り、「てんぷらにしよう」「スイートポテトを作る!」など、楽しそうな声が聞こえました。



俳句教室

12月7日(日)
南大泉地域集会所

俳句教室には20名の子供たちが参加しました。はじめは緊張の面持ちでしたが、講師の秋元紀子先生の「他の人と比べたり、早く作ろうとしなくていいですよ」「間違いや失敗は宝ものです」という支援、声かけで子供たちの表情も緩みます。子供たちの力作、個性あふれる作品をご覧ください。



今年度の俳句教室の作品

- しちごさんじんじやにいったねがいごと
大四小一年 つな としお
- クリスマスなにしようかプレゼント
大六小一年 たけはら ゆり
- けいとだまセーターつくるしろがすき
大六小二年 長さわ さ知
- みかんだべいばいたべてまだ食べる
大四小二年 ささ木 みのり
- セーターはすくばかばかあたたかい
大六小二年 みやた まい
- 学校に一年生がやってくる
大六小三年 神戸 結月

旬の時計がふき出すみかん汁

大二三三年 かたおか ゆうと

毛糸玉くるくるするよたのしいな

大二三三年 安丸 弥希

さつまいも二キロ以上になったんだ

大二三三年 あさ野 ゆい

卒業生なみだ光る日花さいた

大二三三年 松本 真季

夏祭り空にさく花ちる花火

大二小四年 池 彩星

なわとびでたまにできるよ二重とび

大三小四年 仙石 湊大

夏のくもいろんな形見えてくる

大四小四年 佐々木 のどか

白い息毛糸マフラー受けとめる

大四小四年 中村 こうき

まだかなとわくわくしている雪ふる日

大西小四年 望月 桜

きついたらなくなっている毛糸玉

大三小五年 上村 紗知

手袋とえり巻冬のお友達

大四小五年 中尾 愛梨

毛糸玉ころりころがりいやされる

大六小五年 宮田 亜生

弟と星座ながめる大晦日

大二小六年 片岡 陽輝

寒い中ふるえていびむ体育だ

大四小六年 佐々木 天菜

年の暮きれいになった窓ガラス

地区委員(元会長) 宮澤三重子

俳句教室に参加して学んだこと

大泉第三小学校 3年 松本 真季

私は1年生の時から俳句教室に参加しています。参加した理由は、もともと俳句や伝統文化が好きだからです。

参加すると、俳句の作り方や特徴を覚えてもらえます。特徴は、大きく二つあり、五七五の十七音で書くことと、季語を入れることです。最初は季語がない方が作りやすいと思っていました。でも歳時記で季語のことを知って作ると、しみりとした様子やこまかい自分の気持ちを表すことができると思いました。難しいけれど他の人に自分の言いたかったことが伝わりやすくなります。

先生が「俳句は百年以上も昔の人と、気持ちや情景を共有できる。」ということをおっしゃっていました。先生が百年前の人を作った俳句を紹介してくださった時、百年前のことは分からないのに頭や心の中に情景がうかんできてびっくりしました。「自分の句も百年後の人に読まれるかもしれない。その時どう思われるだろう。」と思うとドキドキしました。

俳句教室は楽しいし、勉強になるのでぜひ来てください。

人形げき

1月24日(土)
南大泉
地域集会所

50名近くの観客に見守られながら、まずはおむすび座さんによる人形げき「三びきのやぎのがらがらどん」がスタート。

三匹のやぎが登場し、小やぎのコミカルな動きを見て笑う子供たち。一気に物語に引き込まれていきます。怖いトロールの迫真の演技、丸々と太ったやぎたちのかわいい姿などに、子供たちは身を乗り出して真剣に鑑賞していました。



「パネル劇場」は「てるてるちゃん大へんしゅん」と「3びきのこぶた」の2本立て。軽快なテンポや面白い動きに子供たちは大爆笑。三方向にパネルが設置され、部屋の隅から観客席の中まで使った大迫力でユーモアのある演技に「あつちにいるよ!」「そつちはダメ!」と声を出したり指を指したり、子供たちも出演者の一員となって、大興奮で会場は大盛り上がり。終演後にはまた見たいという声がたくさん上がり、名残惜しそうに出演者の皆さんとお別



共催事業報告

第52回 剣道大会

7月13日(日) 大泉第六小学校

個人戦優勝者

- *小3以下 天野惺太 大四道場
 - *小4 丸谷悠晴 大四道場
 - *小5 小林葵翔 大西剣友会
 - *中学生 中谷隆治 大四道場
- 総合優勝 大四道場



「一本」をめざし全力でぶつかる少年剣士

れをする子供たち。子供も大人もたくさんのお笑い顔で溢れるとても楽しい時間となりました。

第54回 少年野球大会

- 11月24日(振休) 大泉第三小学校 大泉西小学校
- 11月29日(土) 光七小跡地グラウンド
- 11月30日(日) 東台野球場

優勝

- ☆Aリーグ(基本5・6年生) ツバメ野球部(大三小)
- ☆Bリーグ(基本4年生以下) ツバメジュニア(大三小)



夏の開催を秋に移し、3日間にわたり熱戦が繰り広げられました。

新年顔合わせ会

1月16日(金)、南大泉地域集会所集会所において38名が出席し新年顔合わせ会が開催されました。鈴木昌一会長のあいさつに続いて、育成の活動にかかわる各界、各団体の来賓の方々からあいさつをいただきました。



「バスで行く森林公園」(トゥギャザー事業)のスライド上映のあと、青年リーダーの松田空翔さんから取組の経過、感想が述べられました。この後、懇親会に移り、和やかに交流、親睦を深めました。

感謝状贈呈式

おめでとうございます!

令和7年度青少年育成地区委員感謝状贈呈式が11月5日(水)、生涯学習センターで行われ、大泉西地区委員会から次の方々へ感謝状が贈られました。(敬称略)
*永年(15年以上)
三ヶ崎清政
弓座 圭一

*健全育成協力者

- 石原 肇(大六小剣友会)
- 露原 康二(大六小ハリケーンズ)



編集後記

「育成のとびら71号」をお届けします。本誌を通じて青少年育成大泉西地区員会について少しでも身近に感じていただけたならうれしく思います。

引き続き、温かいご支援とご協力をお願いいたします。

- 山田(部長) 三ヶ崎 千葉
- 藤澤 成田 青木 関根 佐藤
- 松井 伊藤 谷 若杉 平田